



地域支援部だより

〒781-0010 高知県四万十市古津賀 3091

高知県立中村特別支援学校 地域支援部

Tel.0880-34-1511 Fax0880-34-1625



R4. 第7号

朝晩の冷え込みや、日暮れの早さなど、少しずつ秋も深まりつつあります。紅葉を見に行くという文化は平安時代からと言われていますが、あちこちで紅葉も見頃になってきました。きれいな紅葉を見ると癒されますよね。皆さんも家族や友達と紅葉を見に行ってみてはいかがでしょうか。

ほめちぎる学校！！

先日テレビを見ていたら、「ほめちぎる自動車教習所」についての放送がありました。脱輪したり、エンストしたりと、どんなに失敗しても、教習所の教官たちは、その失敗の中から良い点を見つけ出し、ほめ言葉で返していました。「ほめちぎる教習」を始めてから、検定の合格率が82%から91%に上昇し、卒業生の事故率は1.76から0.36へと減少したという結果も出ているそうです。「ほめる」の効果恐るべしですね。

学校教育においても「ほめる」という行為が授業参加行動にどれだけの効果があるのかを検証した研究がありますのでご紹介したいと思います。

自己記録手続きを用いた教師の言語賞賛の増加が児童の授業参加行動に及ぼす効果

—担任教師によるクラスワイドな“褒めること”の効果—（庭山・松見2016）

この文献の中では、教師が子どもの適切な行動を賞賛するより、不適切な行動を注意・叱責するようになりがちなのは、注意・叱責が不適切な行動の一時的な低減を即時にもたらすからだと考えられること。それに対して、子どもの適切な行動を賞賛して伸ばしていく場合、適切な行動は徐々に増えていくため、結果が即時的に得られにくいからだと書かれています。ちょっと、耳が痛い話です。

この研究では、教師の言語賞賛回数増加にともない、児童の授業参加率も上昇したという結果が報告されています。細かい手続きや方法に興味がある方は、この文献を読んでみてください。（インターネットで検索できます。）

ほめ方のコツ

- ① 25%ルール パーフェクトを待たない。
してほしい行動を始めた時、しようとしている時
している時、指示に従ったとき
してほしい行動をしていない時 できるだけ早く
- ② 視線・身体 子どもと同じ目の高さで、子どもに近づく
子どもを呼ぶ
- ③ 表情 穏やかな表情
- ④ 声の調子 穏やかに 明るく
- ⑤ 言葉 メッセージは短く 簡潔明瞭に
- ⑥ 行動をほめる 子どもをほめるのではなく、子どもの行動をほめる
「いい子ね」「えらいね」→「あ、宿題始めたんだね」
- ⑦ 効果的にほめる 子どもの性格や感じ方、年齢に合わせたほめ方を



上記の自動車教習でも文献の中でも、どのようなほめ方をし、どのようなほめ言葉を使用しているのかを教員同士で共有しあったそうです。一人では、ほめ言葉のレパートリーにも限界がありますからね。

ほめるは人のためならず

「情けは人のためならず」とは人に対して情けを掛けておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味の言葉ですが、この「情け」は「ほめる」に変えても成立するのではないのでしょうか。以前読んだ「運命は口ぐせで決まる（佐藤富雄著）」という本の中で、「人と喧嘩した後に嫌な気持ちになるのは、自分が発した相手を非難する言葉を自分自身が聞いて嫌な気持ちになるからだ。だから、発する言葉には気をつけよう。」というような内容のことが書かれていました。逆に、「いい言葉は人生をあなたの望む方向へと導き、いい結果をもたらします。」と。確かに、言葉というものは、聞く側は「聞く」という1度の体験ですが、発する側は、何を言うか「考え」、考えた言葉を「口にする」、口にした言葉を「自分でも聞く」という3度の体験をすることになります。ほめ言葉を聞いて嫌な気分になる人はいないと思います。ほめ言葉は、「相手のためだけではなく自分のためになるのだ」と考えれば、もっと積極的にほめ言葉を使おうと意識できるのではないのでしょうか。